令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立 忌部小学校 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○思考・表現や記述式の得点が高く、自分の経験と結び付けて書くことができる。 ○情報を読み取り、文章化することができる。	・情報を読み取り文章化する力を活かし、自分の意見や考えを述べる機会を増やす。 ・漢字ドリルの漢字練習を継続しつつ、短文の中で正しく漢字を選択・記述させるようなテストを書き取り会などを活用し、実施する。 ・文章を書くときには、漢字を使う練習も意識し、文脈の中で正しく漢字を使用できるようにする。
	課題	●文脈に応じた語彙や表記の正確性に欠ける。 ●文章を読むことに時間がかかる。	
算数	成果	○根拠を表から読み取り記述することができる。 ○立方体の体積の計算や基礎的な計算の力はついている。	・テープ図や数直線を日常的に描かせることで、「もとにする量(1or100%)」を視覚的にわかるようにする。 ・単位分数が何個分あるかを具体物や数直線を用いて理解できるようにする。 ・言葉や図で説明し合うペアワークの時間を取り入れ、算数の概念を定着できるようにする。
	課題	●割合や比較の概念理解ができていない。 ●分数の概念と数直線上の1の位置把握が定着できていない。 ●四捨五入や帯グラフの読み取りが弱い。	

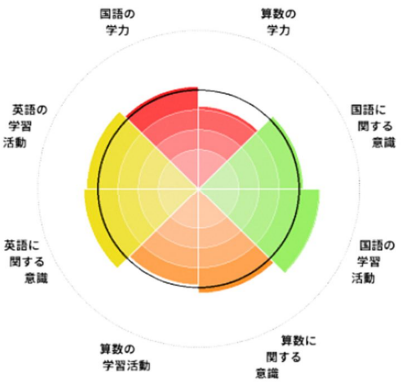
(2)質問紙調査から見られた傾向

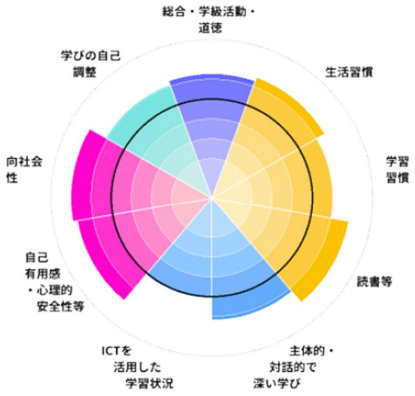
		分析(成果○:強み/伸ばしたい点，課題●:弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○自尊感情や他者貢献への意欲が高く、教員との信頼関係を築けている。 ○ふりかえり→実生活へ活かすことができ、主体的な学習姿勢が育っている。 ○図書館やICTを利用し、基本的な情報収集手段を積極的に活用できている。	・話し合いの過程を明確にし、集団で話し合って決定→実践を通して、成功体験を重ねる。 ・算数では、習熟度別学習を進めたり、宿題などを活用したりして一人一人のつまずきに応じた学習を意識して行う。 ・ICTを利用して情報整理や発表スライドを作成する機会を確保する。 ・保護者と課題を共有し、メディアコントロールウィーク等でメディアの利用時間を見直す。
	課題	●メディアの長時間利用。 ●集団での話し合いや課題の解決が弱い。 ●ICTを使用した情報の整理やプレゼン作成等の活用スキルが低い。 ●算数への苦手意識が高く、学んでいる実感が低い。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・情報を読み取り文章化できる強みを活かしながら、「どうしてその選択肢を選んだのか(そう思ったのか)」という理由をふりかえったり、根拠を明確にしたりすることができるようにし、概念の誤解の解消や協働的な学びに繋げられるようにする。 ・スキルタイム等を利用して、「単位量あたり」「割合」「分数」に関する基本的な小問題に取り組む。昨年度に引き続き、「単位量あたり」「割合」「分数」に課題があるので、4年生以上では意識して取り組みたい。1～3年生では、数量感覚を育めるよう、具体物を操作する活動を意識して行い、図や数直線を用いて視覚的に数量関係が把握できるように努めたい。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)





【受検者数】

21 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

